

# 解説

## 附属中学校 有友愛子 教諭 多様性をテーマに総合的な学習の時間で育成する 「他者理解力」

コンピテンシー育成開発研究所 特任准教授 下島泰子

本授業は総合的な学習の時間における「多様性について考えるプログラム」の一環である。外部団体と連携し、外部講師の講演を通して新しい価値観に触れることが意図されている。

文部科学省の「社会に開かれた教育課程」が目指す「変化の激しい社会を生きるための資質・能力」を育成するために「社会」「多様な人々」とのつながりを重視し、「子供たち一人一人の豊かな学びを実現していく」ことと合致している。

総合的な学習の時間の探究課題の「現代的な諸課題」の1つである福祉を中心に、インクルーシブな視点、合理的配慮について学び、道徳の時間との連携を図りながら教科横断的な学びを実現した。

前半の講演で主に批判的思考力の育成を目指し、後半のワークショップではグループでの協働能力、他者理解力や省察的思考力の育成を目指している。ワークショップにおいては実際に視覚・聴覚・発話障害を体験し、感じたことをグループで話し合うという取り組みが行われた。